

## 平成30年度事業報告

平成30年度の協会運営及び協会事業の実施につきましては、会員各位のご理解と行政をはじめ関係各位のご指導・ご支援により、諸事業が終了いたしました。ここに関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

本年度において実施した協会運営及び協会事業について、次のとおり報告させていただきます。

### 1 協会の運営状況

#### (1) 会員の状況

平成31年3月31日現在の会員数は526社（うち正会員471社、賛助会員55社）です。平成30年度に会員17社（正会員12社、賛助会員5社）が加入され、会員9社（正会員8社、賛助会員1社）が退会し、平成30年度としては、8社の増となっています。

#### (2) 総会、理事会等の開催

##### ア 総会

第6回定時総会を5月25日、ホテルレイクビュー水戸で開催し、平成29年度の事業報告及び収支決算報告、定款の変更について審議され、原案どおり承認されました。また、平成30年度の事業計画及び収支予算について、平成29年度公益目的支出計画実施報告書について報告がなされました。

定款変更が承認されたことを受け、平成30年7月1日から協会の名称は、（一社）茨城県産業資源循環協会となりました。

（出席者 397社 うち書面議決書提出 218社 委任状提出 74社）

##### イ 理事会、正副会長会議の開催

#### (7) 理事会

8回開催。会員の入会の承認、第6回定時総会議案書、いばらき自民党への県政要望、各業務委員会における平成30年度の事業計画、平成30年度ボランティア不法投棄廃棄物撤去事業などの議題について、審議しました。また、3月14日の理事会では、協会のロゴマークを決定しました。

（開催月日：4月25日、6月14日、8月2日、10月4日、12月6日、1月24日、2月27日、3月14日）

#### (4) 正副会長会議

6回開催。理事会へ提案・審議する事項、委員会での審議事項など協会運営についての協議・検討を行いました。

（開催月日：4月25日、6月14日、8月2日、10月4日、12月6日、3月14日）

### (3) 委員会等の開催

#### ア 総務企画委員会

2回開催。11月21日の委員会では、表彰候補者の人選方法等について、また3月4日の委員会では表彰候補者の人選や労働災害防止計画などについて協議・検討し、その結果を理事会へ提案・報告しました。

(開催月日 11月21日、3月4日)

#### イ 適正処理委員会

2回開催。公共関与の最終処分場の確保に向けた今後の活動方法について検討し理事会に報告するとともに、「産業廃棄物処理実務担当者研修会」を2月20日に茨城県総合福祉会館(参加者94名)で開催しました。

(開催月日 7月20日、2月20日)

#### ウ 研修厚生委員会

4回開催。6月12日委員会を開催し、平成30年度の事業計画を作成しました。厚生事業として第20回5ブロック親睦チャリティゴルフコンペを10月23日に宍戸ヒルズカントリークラブで開催し70名の参加がありました。参加者からの善意の募金7万2千円を茨城新聞文化福祉事業団の「愛の募金」に寄付しました。また研修事業として、11月8、9日に大阪府和泉市にある「大栄環境株式会社」へ県外先進施設視察研修(参加者27名)を行いました。

(開催月日 6月12日、10月9日、10月23日、11月8、9日)

#### エ 広報調査研究委員会

1回開催。6月28日(木)委員会を開催し、平成30年度の事業計画を作成しました。事業計画に基づき、産廃茨城だよりを7月に、資源循環いばらきを12月、3月に発行しました。また、協会ニュースは、1年間で15号発行し、会員の皆様に新しい情報を的確に広報することができました。

(開催月日 6月28日)

#### オ 安全衛生委員会

3回開催。6月28日(木)委員会を開催し、平成30年度の事業計画を作成しました。10月12日(金)、事業計画に基づき、KYT研修会(参加者29名)、11月20日(火)リスクアセスメント研修会(参加者41名)を中央労働災害防止協会の協力を得て開催しました。

(開催月日 6月28日、10月12日、11月20日)

#### カ 再生砕石専門部会

3回開催。9月21日に再生砕石専門部会運営委員会を開催し、12月12日には第3回再生砕石専門部会総会を開催しました。総会で承認された事業計画に基づき、2月13日に当協会会員である中央電気工業株式会社の廃棄物溶解施設の視察研修(参加者14名)を行いました。

(開催月日 9月21日、12月12日、2月13日)

## キ 協会設立 30 周年記念事業推進委員会

5 回開催。7 月 26 日（木）委員会を開催し、30 周年記念式典、30 周年記念誌、ロゴマークの作成を検討しました。9 月 27 日（木）には、第 2 回委員会を開催し、ロゴマークを公募することが了承され、公募したところ 229 作品の応募があり、3 月 4 日の委員会ではロゴマークの一次選考を行いました。

（開催月日 7 月 26 日、9 月 27 日、11 月 21 日、1 月 24 日、3 月 4 日）

### （4）青年部会

幹事会を 4 回開催し、勉強会・研修交流会について検討しました。8 月 18 日に開催した CSR 活動「エコステーション運営（水戸 FC v s ジェフ市原）」では、地元の高校・大学生と一緒に取り組みました。また、10 月 19、20 日に開催した東京都青年部会との交流会では、人工知能を利用した廃棄物収集や人材確保について学ぶとともに親睦を深めました。11 月 15 日に開催された青年部カンファレンスでは、全国の青年部員が一堂に会し今後の業界のあり方を検討しました。

（開催月日 6 月 29 日、8 月 21 日、10 月 19、20 日、11 月 15 日、12 月 11 日、2 月 6 日、15 日）

## 2 協会事業の実施状況について

### （1）調査研究事業

全産連等が実施した産業廃棄物処理業の景況動向調査をはじめ各種調査に協力・実施しました。

### （2）研修講習事業

#### ア（公財）日本産業廃棄物処理振興センター講習会

##### （ア）新規講習会

- ・産業廃棄物収集・運搬課程 (2 回 2 日間 受講者 209 名)
- ・産業廃棄物処分課程 (1 回 4 日間 受講者 72 名)

##### （イ）更新講習会

- ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集・運搬課程 (4 回 1 日間 受講者 394 名)

##### （ウ）特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

(4 回 1 日間 受講者 423 名)

#### イ 茨城県産業廃棄物処理業者講習会

平成 31 年 2 月 4 日、茨城県立県民文化センターで公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの担当官及び茨城県県民生活環境部廃棄物対策課の職員による「電子マニフェストについて」「改正廃棄物処理法等について」の講習会が開催され、269 名が参加しました。

## ウ 電子マニフェスト導入実務研修会

平成31年2月21日、茨城県庁で公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが実施している電子マニフェスト導入実務研修会が開催され、108名が参加しました。

## (3) 相談指導業務

### ア 産業廃棄物の処分先の照会等

廃棄物処分先について、電話等による相談を受けたものについては、会員である収集運搬事業者・中間処理事業者・最終処分事業者の方々への紹介を積極的に行い、産業廃棄物の適正処理の推進を図りました。

### イ 産業廃棄物処理業の許可取得に関する相談等

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業（収集運搬業、処分業）の許可取得や変更届などについて、会員の皆様方からの電話や来訪による相談に対応しました。

### ウ 産業廃棄物処理施設の設置等に関する相談

会員の皆様方からの電話、来訪による相談に応じるとともに、一般の方々については、当協会が発行している「廃棄物処理施設の設置等に係る事前審査関係例規集」の頒布などにより対応しました。

## (4) 交流事業

### ア 行政機関との意見交換会の開催

協会の円滑な運営と事業の展開を図るため、行政の方々と意見交換会を開催しました。

(開催月日 8月2日)

### イ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関連会議

- |                    |    |     |
|--------------------|----|-----|
| ・ 第8回定時総会          |    | 東京都 |
| ・ 全国正会員会長・理事長会議    | 1回 | 熊本県 |
| ・ 全国正会員事務局責任者会議    | 2回 | 東京都 |
| ・ 産業廃棄物と環境を考える全国大会 |    | 石川県 |

### ウ 全産連関東地域協議会の関連会議

- |           |    |          |
|-----------|----|----------|
| ・ 関東地域協議会 | 2回 | 東京都、神奈川県 |
| ・ 事務責任者会議 | 2回 | 東京都      |
| ・ 事務担当者会議 | 1回 | 群馬県      |

### エ 新春賀詞交歓会の開催

行政及び関係機関の方々との交流や会員相互の交流を行うため、ホテルレイ

クビュー水戸で新春賀詞交歓会を開催したところ、241名が出席しました。  
(開催月日 1月24日)

## (5) 広報啓発事業

### ア 協会ホームページ等による情報提供 <http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

国、県、関連団体等からの行政情報及び協会で実施した各行事などについて、協会ホームページに掲載、情報提供の充実を図りました。協会会員等に対しては、各種の講習会、国、県、関連団体等からの最新情報を紙面で迅速に情報提供を行うとともに、「資源循環いばらき」を発行し各種の情報を提供しました。また、協会ニュースをファックスにより迅速に提供しました。

### イ 新聞の活用

茨城県産業資源循環協会を広く県民に認知していただくため、茨城新聞や環境関係新聞へ掲載し、協会のPRに努めました。

(掲載9回)

### ウ マニフェスト(産業廃棄物管理票)使用の普及促進

#### (ア) 紙マニフェストについて

産業廃棄物排出事業者や建設系廃棄物の元請事業者などに46万7000セットのマニフェストを頒布し、併せて小冊子マニフェストシステムがよくわかる本を頒布し、その使用の普及促進に努めました。

#### (イ) 電子マニフェストについて

(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが作成している小冊子(よくわかる電子マニフェスト)により会員及び排出事業者等への周知を行うとともに電子マニフェスト操作体験セミナーを2回開催(参加者71名)して普及促進に努めました。

## (6) ボランティアU. D. 監視員制度運営事業(県委託事業)

### ア 不法投棄監視パトロール実施状況等の運営管理

監視員500名の実施した不法投棄監視活動状況を集計管理し行政に報告しました。

### イ 監視員登録証の更新手続き

協会監視員100名のうち2分の1の50名の登録証の更新手続きを行いました。

### ウ ボランティアU. D. 監視員合同研修会の実施

平成30年11月20日に、茨城県市町村会館においてボランティアU. D. 監視員合同研修会(参加者203名)を開催しました。

## (7) 茨城県廃棄物再資源化指導センター事業(県委託事業)

### ア 廃棄物の適正処理相談事業

廃棄物の適正処理に関する一般県民からの相談に対応しました。

## イ ホームページによる情報提供

産業廃棄物のリサイクルに関する優良事業所の概要等について、ホームページ上に公開し、事業所や処理業者の方々の産業廃棄物の再資源化や有効利用についての情報を提供しました。

## ウ 茨城県産業廃棄物適正処理指導啓発講習会の開催

2月21日、茨城県庁において、株式会社エンビプロ・ホールディングスの坂本裕尚氏を講師に、排出事業者を対象とした講習会を開催し、130名の参加がありました。

## (8) 協会設立30周年記念準備事業

令和元年に協会設立30周年を迎えることから、協会設立30周年記念事業推進委員会を設置し、協会設立30周年記念事業を検討しました。

## (9) 関連事業

### ア 表彰事業

(ア) 全産連の表彰規定に基づく表彰

- ・ 功労者 1名
- ・ 地方功労者 2名
- ・ 優良事業所 1名
- ・ 地方優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 4名

(イ) (一社) 茨城県産業資源循環協会の表彰規程に基づく表彰

- ・ 功労者 3名
- ・ 優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 8名

(ウ) 環境大臣表彰

- ・ 循環型社会形成推進功労者等 1名

(エ) 知事表彰

- ・ 功績者 1名
- ・ 環境保全功労者 1名
- ・ 不法投棄防止功労者 当協会及び会員1名

### イ 不法投棄廃棄物ボランティア撤去事業

協会設立20周年の記念事業として平成21年度から実施してきたボランティア撤去事業については、今年度も5つの協会支部単位で、行政をはじめ地域の大勢の方々の参加・協力を得て不法投棄廃棄物ボランティア撤去事業

を実施しました。この事業は新聞にも取り上げられ、産業廃棄物処理業界のイメージアップに貢献しました。また、長年の功績に対し、茨城県から不法投棄防止功労者表彰を協会として受賞しました。

- ・鹿行支部 平成30年11月13日実施
- ・県央支部 平成30年11月16日実施
- ・県北支部 平成30年11月16日、20日、21日実施
- ・県南支部 平成30年11月17日、12月8日実施
- ・県西支部 平成30年12月8日実施